

元気な会社  
いきいき商店

## 「ノーマライゼーションを目指して」



高齢者福祉施設 喜楽苑

西野 佳名子施設長(40)

喜楽苑は、昭和55年に尼崎市から受託された訪問入浴サービス運営の実績が評価され、同58年に市内で最初の特別養護老人ホーム(以下特養)として、当時は珍しかった長洲という住宅地の中に開設した。

経営理念は「ノーマライゼーションの実現」。重い障害を持っていても、ごく当たり前の生活が保障されるべきであるという理念の基、様々な取り組みを行っている。

開設後全員で取り組んだのが、「言葉の言い直し運動」である。職員は年長者である入居者に対して、「〜して下さい」という指示ではなく、「〜して下さいますか?」という依頼の言葉で話しかける。入居者の意思を尊重し人間の尊厳を守るための取り組みだ。また、おむつ交換はカーテンで仕切って絶対介護者以外には見えないようにし、排泄や入浴の介助は同性の介護者での実施を原則にするなど、プライバシーを守ることを徹底した。

地域社会との関わりも大切に、買い物や外食などにも積極的に出掛けている。喫茶店に行ったり観劇や地域イベントへの参加、居酒屋に繰り出してお酒を飲むこともある。職員が同行させていただく「ふるさと訪問」も開設当初から続いていて、大変人気がある。



こうした取り組みをより充実させるため、同59年に入居者の家族で構成される「家族の会」が結成された。職員との意見交換をはじめ、介護経験を地域福祉に活かすなど精力的に活動している。その後、亡くなった入居者のOBが運営のお役に立てればと「家族OB会」も結成。両者の存在は同苑にとって欠かせないものとなっている。

同61年にデイサービスセンターを開

設し、平成5年にホームヘルパー派遣事業と配食サービス事業を開始し、地域住民と交流を深めていく中、阪神・淡路大震災が起こる。同苑は比較的被害が少なかったが、在宅で介護をされていた地域の住民が次々と駆け込んで来られ、浴室の市民への開放や配食サービスの展開などを次々に実施していった。

震災により、独居老人の孤独死が増える中、同10年には、緊急通報に24時間対応するシルバーハウジング(高齢者世話付住宅)事業をはじめた。

「小田地区という地域性を考慮しながら、様々な事業に取り組んでいます」と施設長の西野佳名子氏。

現在は、社会福祉法人きらくえんとして、兵庫県下の4カ所で特養を運営し、グループホーム運営や在宅福祉サービスなども行っており、職員一丸となって高齢者福祉の向上に邁進している。

### 「会社の概要」

(松久)

所在地 長洲西通2-8-3

従業員 147人

事業内容 特別養護老人ホーム ショートステイ デイサービス ホームヘルプサービス 訪問入浴介護 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター 配食サービス シルバーハウジング生活援助員派遣事業

TEL 6488・9287

FAX 6488・9297

## 貯金箱 シリーズ

◇神話 信ちゃん貯金箱  
(ソフトビニール 日本 昭和)

どこの国の神話でも、世の中の始まりについて語っており、私達の祖先も、遠い昔に神話を生み出した。

日本の国の初めは、真つ暗で何の形もなく、やがて天と地が分かれ、神が現れた。初めてこの世の中に現れた神は、アメノミカヌシ、タカミムスビ、カミムスビの三神だったと言われている。その後、次々に色々な神が現れて、やがてイザナギ、イザナミの二神があらゆるものを生み出していった。



(あましん「世界の貯金箱博物館」)